

屋外設備の防食処理技術

Anti-corrosive processing technique for outdoor facilities

屋外設備の経年劣化は腐食が主な原因であり、特に塩害地域の屋外設備に対しては、溶融亜鉛めっきなどの防食処理だけでは不十分な場合があった。このため、亜鉛めっきと有機被覆を組み合わせた二重防食処理方法が開発された。

物品の各種防食方法と適用事例

Various anti-corrosive methods and application examples for articles

防 食 方 法		適 用 事 例 集
環境からの遮断 〔 金属が直接腐食環境に 触れないようにする 〕	塗 装 有機ライニング〔 高い防食性能が要求 される物品に適用 〕	・ 建物、鉄塔、橋梁などに広く適用 ・ 海底ケーブル保護用外装鉄線、防食支線ロッド、 アンカ、ケーブル引き上げ用半割り管
耐食性材料の適用	耐食性合金	・ 小物、板状物品（ステンレス鋼など）
	めっき〔 表面だけを耐食性合金 で覆う 〕	・ 鋼管柱など屋外物品（溶融亜鉛めっき） ・ 高耐食鋼より線（Zn-Al合金めっき）
金属化学的防食 〔 金属に電流を流入させ 腐食と逆の反応を起こ させる 〕	電気防食〔 直流電源により電流を 供給 〕	・ 鉛被電食対策等 （上記防食方法の適用だけでは不十分な場合に適用 または設備建設後防食が不十分と判明した場合に適す）
	流電陽極〔 亜鉛、アルミニウム、 マグネシウム合金など 〕	